

# Javier Contreras in Osaka

ハビエル・コントララス  
ギターリサイタル

9/27 (木) 開場 17:30  
開演 18:00

チリの新鋭、ハビエル・コントララス



賛助出演：森井 英朗

世界各国で数多くの作曲賞を受賞する、今注目のコンポーザーギタリスト。叙情性と激しいリズムを組み合わせたそのスタイルで『バリオスの後継者』とも呼ばれている。超絶技巧の自作演奏、そしてフォルクローレを基礎としつつ現代音楽やジャズの要素も取り入れた彼の音楽は、正に南米ギター音楽の最先端である。

## 文禄堤薩摩英国館 2F ギャラリー

大阪府守口市本町2-4-15

チケット料金：一般 3,000 円 学生 2,500 円 (当日料金は各 500 円増)

お問い合わせ Tel: 080-1130-4706 Email: [oreganokikaku@gmail.com](mailto:oreganokikaku@gmail.com)

主催：J. コントララスギターリサイタル実行委員会

共催：オフィスグリーン オレガノキカク 後援：アルトフィールド音楽教室

## ハビエル・コントレラス

チリのバタゴニア地方出身のコンポーザー・ギタリスト。音楽家としてチリの『リリアナ・ベレス・コレア賞』やスペインの『ミゲル・リョベート賞』を受賞しており、作曲家としてはボストンのギターフェスティバルで作曲賞第1位、またリスケル・コンテストでヴァイオリンとギターの商品が作曲賞第1位など多数の賞を受賞している。

彼の作品はアナ・ヴィドヴィッチ、ホセ・アントニオ・エスコバル、ロミリオ・オレジャーナ、エステバン・エスピノーザ、グレアム・デヴァイン、チアゴ・コロンボ、ルイス・レイチなど数多くのトップギタリスト達のレパートリーとなっている。また彼のオーケストラ作品をチリのユニバーシダッド・マヨール・オーケストラ、バルパライソ・ユニバーシダッド・オーケストラ、アメリカのコロンビア大学バーナード・コロンビア・コーラスやフィンランドのミケッリ・シティ・オーケストラなどが取り上げている。

アルゼンチン、ブラジル、ペルー、パラグアイ、コロンビアなど南米各地でデビューリサイタルを行い、アメリカやインドなどにも演奏旅行を行っている。現在まで4枚のCDをソロや室内楽の商品で録音しており、ナクソス・レーベルにおいては『チリのギター音楽集』（ホセ・アントニオ・エスコバル）で彼の作品が取り上げられている。彼の楽譜は北米の出版社メルベイや独立系出版社で出版されており、また2018年3月号から毎月、現代ギター巻末において彼の<トナダ・ファンシヨナル>が7曲連続で紹介された。

公式サイト [www.javiercontrerasmusic.com](http://www.javiercontrerasmusic.com)

## 森井 英朗（もりい ひでお）

東京都出身。17歳からエレクトリックギターを始め、2001年の渡英から本格的にクラシックギターを学ぶ。英国トリニティー音楽大学ギター専攻卒業、およびFTCL演奏家ディプロマ所得。在学中よりロンドン・インターナショナル・ギターフェスティバルやケンブリッジ・ヒスパニック・フェスティバル等イギリス国内で多数のコンサートに出演。帰国後はソロ活動の他、他楽器とのアンサンブル、フォルクローレ、ショーロ、タンゴなど南米音楽、また映画音楽を中心に演奏する『シネマティック・ギターデュオ』での活動など幅広い音楽活動を行っている。

パセリミュージック音楽教室主宰、アルトフィールド音楽教室講師。2018年『南への旅』（タイム・レコード）でCDデビュー。TCM室内楽コンペティション審査員特別賞受賞。

これまでに、竹内太郎、ローランド・ギャラリー、ジェームス・ウッドロウ、グレアム・デヴァイン、高田元太郎の各氏に師事。公式サイト [www.hideomorii.com](http://www.hideomorii.com)

## BUNROKU 文禄堤薩摩英国館

大阪府守口市本町2-4-15

京阪電鉄「守口市駅」東改札より徒歩3分

地下鉄谷町線「守口駅」3番出口より

徒歩2分

